

令和2年度「みな」と「みらい」を語る WEEK について

<ねらい>

- ・自分たちの ESD/SDGs の取組を他者へ向けて発信し、交流することを通して、多面的・多角的に物事を捉えたり、多様な価値観を共有したりできる力を伸ばす。
- ・他学年・他クラスの取組を知ることで、ESD/SDGs への理解をより深める。
- ・他者からの意見やアドバイスをもらい、これからの活動に生かし、探究的な学びを進めるようにする。
- ・語る WEEK を通して、ロジックモデル（学校 HP 参照）達成に向けて推進する。

<期間> 12月14日（月）～18日（金）

<行い方>

- WEEK の始めと終わりに、テレビ放送で会を行う。

【14日（月）朝】WEEK 始まりの会

- ① 校長先生より
- ② バッジの紹介
- ③ 始まりのあいさつ（5年）

【18日（金）昼】WEEK 終わりの会

- ① 振り返り、終わりのあいさつ（6年）

※WEEK 中は、バッジを名札に付ける。

① ペア学級での交流（直接伝え合う）

1-1	1-2	学習室	
2-1	2-2		
3-1	3-2	5-1	5-2
4-1	4-2	6-1	6-2

○期間中に時間を設定し、交流を行い、お互いの活動に対して感想や意見を伝える場面を設ける。

○学級の人数に応じて、児童が密にならないように多目的室や体育館、校庭など広い場所を使用するか、人数を分散させる等の工夫を行う。

② 外部との交流

○この期間に、各学級の活動に関して外部（主に保護者）に対してのアクションをとる。

～ 具体例 ～

ZOOM	リアルタイムに相手から意見や感想をもらうことができる
ロイロノート	動画や写真を見てもらい、アンケート機能を使って、意見を集めることができる
掲示物やビデオ	前週にある個人面談期間を利用して、保護者からの反応を集約することができる。
お便り	活動の報告や紹介を行い、活動に対しての意見を集めることができる。

※各学級の外部との交流の仕方の詳細は、後日お知らせします。